

1. 投稿資格

本誌への投稿は、日本NPO学会会員に限り、共著の場合は、著者の中の最低1人が会員であれば足りるものとします。ただし、招待論文など、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではありません。

2. 掲載対象および原稿作成方法

投稿論文は、NPO・NGO、フィランソロビー、ボランティアおよびこれらの関連領域に関する新しい学術的貢献を含む未発表の研究論文あるいは研究ノートとします。論文のスタイルは、別に定める「原稿作成の手引き」に従ってください。審査の公正を期すため、投稿原稿本文中の、著者名や著者が推測できるような表現は削除してください。

3. 刊行頻度および締切日

本誌は、当分の間、原則として年2回刊行します。投稿は随時受け付けます。締め切りは特に定めませんが、大体の目安として、5月末までに投稿されたものが12月頃に刊行する号の、11月末までに投稿されたものが翌年6月頃に刊行する号の掲載対象となります。

4. 分量

原則として、日本語論文にあつては20,000字、英語論文にあつては10,000語を超えることはできません。

5. 投稿の方法

本誌は、オンライン・システムによる投稿手続きを採用しています。科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)の雑誌投稿画面(下記URL)に従って所定の投稿票に記入し、本文と図表をアップロードしてください。

(<http://ess.jstage.jst.go.jp/contrib/janpora/initialsubmission/-char/ja>)

また、これらを電子メールおよび郵送(A4用紙片面にプリントアウトしたもの2部)で日本NPO学会ノンプロフィット・レビュー編集委員会あてに提出してください。提出された原稿は、採否に関わらず返却しません。

6. 審査

投稿論文の掲載は、編集委員会が委嘱するレフリーによる査読レポートを踏まえ、編集委員会が決定し、投稿者に連絡します。

7. 著作権

本誌掲載論文の著作権は、日本NPO学会に帰属します。本誌掲載の原稿を執筆者が他の著作等に収録・転用を希望する場合には、あらかじめ電子メールで日本NPO学会編集委員会の許可を得てください。

8. 論文作成の方法

投稿論文の掲載が決まると、「原稿作成の手引き」に従った所定のスタイルおよびファイル形式で、印刷用およびオンライン誌掲載用の最終原稿を提出していただきますので、投稿段階から最終原稿作成を念頭に置いたPCソフトウェアやファイル形式を採用されることをお勧めします。

【問い合わせ先・原稿送付先】

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-31

大阪大学大学院国際公共政策研究科内

日本NPO学会ノンプロフィット・レビュー編集委員会

TEL/FAX: 06-6850-5643

E-mail: npo-review@ml.osipp.osaka-u.ac.jp

(ノンプロフィット・レビュー専用)

原稿作成の手引き

1. ソフトウェア環境

(1) 文章

文章はMS-WordのWord文書形式(推奨)およびテキスト形式で作成してください。特定のワードプロセッサに依存するフォーマットで保存されている場合は受け付けることができません。

本文では原則として、英数字はすべて半角を用いてください。また、半角カタカナは使用しないでください。

(2) 図表・写真

図表・写真は、本文とは別に作成して本文に貼り付けてください。図表・写真は本文とは別のファイルでも提出してください。

グラフなどの図表はMS-Excelで作成してください。その際、使用するシートが分かるようにシート名をつけてください。それぞれのタイトルは、表の場合は上に、図の場合は下に記載してください。

説明図等については、MS-Excelもしくは、専用のグラフィックソフト(Adobe Photoshop, Illustratorなど)で作成してください。

2. タイトル・要約・キーワード

以下のものを日本語と英語の両方で表記してください。ただし、英語論文の場合は、要約とキーワードは英語のみで足りません。

(1) 表題・副題 (title; sub-title)

(2) 著者名 (author)

(3) 所属機関名 (office)

(4) 要約 (abstract) (日本語で400字程度まで、英語で200 words程度まで)

(5) キーワード (Key words) (5語程度)

3. 表記法・体裁

(1) 言語・文字

言語は、日本語または英語とします。ただし、単語であれば、ドイツ語、フランス語などの使用は可能です。

横書き、新仮名遣い、新字体使用を原則とします。機種依存文字は避けてください。句読点は、カンマ(,)ピリオド(.)を使用して下さい。引用文にはカギ括弧(「」,『』)を使用して、他の文と区別してください。

(2) 数字

数字は、原則として半角のアラビア数字を使用してください。年は、原則として西暦で表記してください。

(3) 章立て

章立ては、下記の要領をお願いします。

(例) 1. インパクト・アナリシス

1.1. 方法

1.1.1. ステップA 非営利セクター全体の特質についての調査

1.1.2. ステップB サブフィールドでの特質についての調査

1.2. 仮説

1.2.1. 公共サービスを提供する機能

1.2.2. アドボカシー機能

4. 注

本文中での注は、MS-Wordの「脚注」機能を使用してください。ナンバリングは、「自動脚注番号」(1, 2, 3, ...)を使用し

てください。MS-Word以外のワープロソフトをお使いの場合、あるいはテキスト形式の場合には、単純に、本文の後に番号順に並べてください。注の数は最小限にとどめてください。単に引用文献を示すだけであれば、注を用いず、6.の例に従って、本文中の（ ）内に示してしてください。

5. 参考文献

論文の末尾に、参考文献リストを添えてください。参考文献として挙げるができるのは、本文中に引用した文献に限ります。これを筆頭著者の姓に基づき、日本語文献と外国語文献を区別せず、アルファベット順にソートしてください。

【日本語雑誌】

著者名（発行年）「タイトル」『雑誌名』巻，号，ページ。

（例）田中弥生（1999）「市民社会による自己決定メカニズム」『公益法人』vol.28, no.12, pp.2-12.

同じ著者の文献が複数ある場合：発行年のあとに、アルファベットをつけ、区別する。

（例）田中敬文（2000a）「NPO発展の鍵を握る実務と研究教育との連携」…

田中敬文（2000b）「NPOの国際的多様性と日本のNPO」…

共著の場合：著者名を「・」でつなぐ。

（例）本間正明・出口正之（1990）「見識ある自己利益の原理に立て」『中央公論』1990年6月号，pp.414-425.

【日本語単行本】

著者名（発行年）『書名』出版社。

（例）NPO研究フォーラム（1999）『NPOが拓く新世紀』清文社。

【外国語雑誌】

著者名（出版年）タイトル [最初とコロンの直後の単語を大文字で始める]，掲載誌 [イタリックで，各単語を大文字で始める] 巻，号，ページ。

（例）Alchian, Armen and Demsetz, Harold (1972) Production, information costs and economic organization, *American Economic Review*, vol.62, no.5, pp.777-795.

（例）Mosley, Paul; Hudson, John and Horrel, Sara (1987) Aid, the public sector and the market in less development countries, *Economic Journal*, vol.97, no.4, pp.616-641.

【外国語単行本】

著者名（出版年）書名 [イタリックで，各単語を大文字で始める]，出版社。

（例）Hansmann, Henry (1996) *The Ownership of Enterprise*, Harvard University Press.

【外国語単行本の日本語版】

著者名（出版年），書名 [イタリックで，各単語を大文字で始める]，出版社（訳者姓名（出版年）『書名』出版社）。

（例）Coase, Ronald H. (1988) *The Firm, the Market, and the Law*, University of Chicago Press（宮沢健一・後藤晃・柴垣萌文訳（1992）『企業・市場・法』東洋経済新報社）。

（例）James, Estelle and Rose-Ackerman, Susan (1986) *The Non-profit Enterprise in Market Economies*, Harwood Academic Publishers（田中敬文訳（1993）『非営利団体の経済分析—

学校，病院，美術館，フィランソロピー』多賀出版）。

【ホームページ】

サイト名（ホームページアドレス）アクセスした日付。

（例）大阪大学大学院国際公共政策研究科 (<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/>) 2001/12/31.

【外国語文献の著者名の表記ルール】

外国語文献における著者のfirst nameは、イニシャルではなく、フルネーム表記をお願い致します。ただし、原典がイニシャル化しており、フルネームがわからない場合などは例外的にイニシャルの使用を認めます。middle nameはイニシャル化してください（例：Salamon, Lester M.）。

著者が複数の場合は、すべての著者を連記してください。その場合、Lastname, Firstname; Lastname, Firstname and Lastname, Firstnameのように表記してください。

（例）Cnaan, Ram A.; Handy, Femida and Wadsworth, Margaret (1996)

ただし、本文中で引用する際、著者が2人の場合は姓を連記し、3人以上の場合は2人目からの姓をet al.で代用してください。

（例）Cnaan et al. (1996) によれば…

6. 文中での引用文献の明示方法

・著者の姓（出版年：ページ）。ページ番号については省略可とします。

（例1）出口（1999: 28-29）によれば…

（例2）いくつかの位置付けが考えられる（Hopkins1991: 31）

訳書のある原書から引用する場合、本文での言及は、原書の著書および年とその引用ページを記載してください。

なお、ページ番号については省略可とします。

また、姓のみを用い、フルネームにしないでください。

（×本間正明（1999）によれば…）

・ホームページサイト名（website）

（例）大阪大学大学院国際公共政策研究科（website）によれば…

7. 図表

図表の点数は特に指定しませんが、文中で言及するもののみにしてください。

図表番号・タイトル・出所は忘れずに記入してください。図表、写真などを他の文献よりそのまま引用する場合は、著者自身が事前に著作権者より許可を得て、必ずその出典を明示してください。筆者自身が作図した場合は、その旨表記してください。図表番号は、図，表，写真それぞれ別に1から付番してください。

（日本語例）図1，図2，図3，…

表1，表2，表3，…

写真1，写真2，写真3，…

（英語例）Figure 1, Figure 2, Figure 3, …

Table 1, Table 2, Table 3, …

Photo 1, Photo 2, Photo 3, …

上記の投稿規程に著しく反する投稿論文は、査読プロセスの不必要な遅れを招いたり、再投稿を必要とすることがありますのでご注意ください。